

2024年7月 定例会議 次第

1. 会長挨拶 13:30~13:35

2. Gスクエア開所の報告 13:35~13:55

3. 会議参加者 各機関紹介 13:55~14:25
 - ・各参加者の自己紹介、機関の取り組み紹介をお願いします。

4. 各部会等の活動報告（各部会3分） 14:25~14:55
 - ・部会長自己紹介、部会長の事業所紹介、部会紹介を3分をお願いします。

5. グループワーク 14:55~15:25
 - ・「おおつ障害者プラン〈大津市障害者計画、大津市障害福祉計画（第7期計画）、大津市障害児福祉計画（第3期計画）〉」が令和6年4月からスタートしました。それに伴い、「それぞれの立場から現在課題に思っていること、これから3年間で大津市の障害福祉で取り組むべきこと、今後自立支援協議会で取り組みを希望すること」をグループワークで話し合い、これからの協議会活動に反映したいと思います。
 - ・グループワークで出た意見はグループワーク次第に記入してください。集約して、後日にメールで共有させていただき、運営委員会等でも今後の運営の協議の際のさんこうにさせていただきます。

6. 今年度予定
 - ・定例会は9月20日、1月17日、3月21日の13:30~15:30で基本的に集合での開催予定です。
 - ・9月は大津市社会福祉協議会の井ノ口さんに講師を依頼して、「改めて地域とは」というテーマで地域とは何か、地域福祉とは何かを皆で学び合う予定です。

2024年度大津市障害者自立支援協議会 定例会代表委員			
委員(機関・事業者)名	備考	委員(機関・事業者)名	備考
しが夢翔会 ステップ広場ガル	運営委員 ショートステイ部会代表 地域生活支援拠点移行代表	大津市福祉部障害福祉課	運営委員 子ども部会全体代表
精神障害者生活支援センター オアシスの郷	運営委員・機能強化事業所 地域生活支援拠点精神代表	大津市保健所 保健予防課	運営委員
相談支援事業所 ひびき	運営委員	大津市子ども発達相談センター	
地域生活サポートセンター じゅぶ	運営委員・機能強化事業所 移動支援プロジェクト代表	大津市教育委員会学校教育課	子ども部会トライアングル代表
障がい児者相談センターみゅう (やまびこ総合支援センター内)	運営委員・機能強化事業所 重心医療的ケア児協議会代表	滋賀県若者サポートステーション	
知的障害児者地域生活支援センター	運営委員・機能強化事業所	大津市社会福祉協議会	運営委員
大津市発達障害者支援センターかほん	発達障害者支援部会代表 運営委員	大津市権利擁護サポートセンター (特定非営利活動法人あさがお)	運営委員
おおつ障害者働き暮らし応援センター	運営委員 精神福祉部会代表	滋賀県立草津養護学校	
大津市障害者虐待防止センター (特定非営利活動法人あさがお)		滋賀県立北大津養護学校	
伊香立の杜	運営委員 北部ネット代表	滋賀大学教育学部附属特別支援学校	
共生シンフォニー	運営委員 南部これから代表	滋賀県立北大津高等養護学校	
大津におの浜障害者福祉協会	運営委員 大津ならではの就労支援代表	滋賀県重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センターこあゆ	
愛育苑	運営委員 バックアッププロジェクト代表	社会福祉法人グロー 信楽学園	
さくらはうす	日中支援部会代表	滋賀県立 近江学園	
明日香の里	ヘルプ協議会代表	滋賀県立 むれやま荘	
咲くら	就労支援部会代表	滋賀県障害者自立支援協議会	
むくの木	行動障害部会代表	滋賀県地域定着支援センター	
夢の木	グループホーム会議代表	滋賀県高次脳機能障害支援センター	
風和々	子ども部会 放課後等代表	滋賀県リハビリテーションセンター	
やまびこ園・教室	子ども部会 乳幼児代表	滋賀県精神保健福祉センター	
大津市視覚障害者協会	差別解消部会代表	木戸相談支援事業所	委託相談支援事業所
	当事者(身障)	ブリッジ	委託相談支援事業所
大津市障害児者と支える人の会	当事者(知的)	らん相談支援事業所	委託相談支援事業所
大津市身体障害者更生会	当事者(身障)	相談支援事業所トモ	委託相談支援事業所
障害者差別のない大津をめざす会	当事者	障害者生活支援センターいるか	委託相談支援事業所
ピアサポートWISH	当事者(精神)	相談支援事業所ひなた	委託相談支援事業所
湖の子会	当事者(精神)	相談支援事業所くっど	委託相談支援事業所
		そうだんオフィス	委託相談支援事業所
		相談支援センターすまいふ・らふ	委託相談支援事業所
		大津市内全ての指定特定相談支援事業所	

自立支援協議会各部会及びプロジェクト会議

相談支援連絡会

相談支援機能強化事業所 4 ヶ所で運営

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第 2 火曜日の午前に開催 ・ 偶数月は指定特定相談支援・障害児相談支援事業所が集まり、奇数月は委託相談支援事業所が集まり、行政からの伝達事項の共有、各相談機関の実績や課題の報告を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託相談支援事業所 15 か所、指定特定相談支援事業所 5 ヶ所、大津市発達障害者支援センターかほん、おおつ働き暮らし応援センター、大津市聴覚障害者相談員、大津市障害者虐待防止センター、障害福祉課、
昨年度 開催状況	<p>4 月 11 日に集合で開催、31 人参加。最初に、大津市指導監査課からのお知らせをする。その後、自己紹介を行い、障害福祉課、自立支援協議会より報告を行う。最後に重点報告(グループホームについての報告を中心に)を行う。</p> <p>6 月 13 日にオンラインで開催する。24 人参加。 自立支援協議会よりしが夢翔会 G-square の説明会について、新 1 年生説明会について、障害者プランのアンケートについて報告する。また、重点報告を(彩葉・やまびこ園・ぽっとらっく・オアシスの郷・すまいるらふ・ぐっど・らん)が行う。</p> <p>7 月 11 日にオンラインで開催、20 人参加。障害福祉課、自立支援協議会より報告。(援護の実施者はそのまま、大津市外から大津市の GH に入居される場合の計画相談について、ガルの新しい GH の相談事業所向けの説明&見学会について、相談支援向けの BCP 研修会について)重点報告は委託相談と専門機関。</p> <p>8 月 8 日にオンライン会議で開催。25 人参加(委託・計画)。障害福祉課より移動支援のあり方についての報告を行う。自立支援協より子ども部会就学前グループの議論から報告、巡回相談で保護者から出てくる言葉について(就学前相談員より)の報告を行う。各事業所の状況(重点報告は各事業所より 1 つ)を共有する。</p> <p>9 月 15 日に集合開催、17 人参加(委託・専門相談)。障害福祉課より、住まいの取りまとめ会について報告を行う。自立支援協議会より、・当事者活動のサポート、・日本相談支援専門員協会主催研修「モニタリング検証について」、・住まいのとりまとめ会の在り方の変更について、・就労支援機関と相談支援の意見交換について、・資源整備、重心・医療的ケア支援協議会、高次脳機能障害連携会議、・高齢障害者プロジェクト研修会の案内について報告する。また、各事業所の状況報告を行う。</p> <p>10 月 10 日に集合で開催、25 人参加。(委託・計画相談)。・障害福祉課よりくやむを得ないモニタリング月の変更について>と<新 1 年生の移行について>。報告。・自立支援協議会より社会資源の整備状況について、グループホームふわふわ申請取り下げについて報告。・各事業所より重点報告を行う。</p> <p>11 月 14 日に集合で開催、24 人参加(委託・計画相談)。・1, 1.障害福祉課より前回の質問に関しての回答。2. 自立支援協議会より重点報告の書き方について、報酬改定の動向に関して(松岡より)、グループホームの食材費について報告する。3.重点報告を行う。</p> <p>12 月 12 日に集合で開催、23 人参加。障害福祉課・自立支援協議会より報告。重点報告(委託</p>

	<p>相談・計画相談)を行う。</p> <p>1月9日に集合開催、18人参加(委託相談・計画相談)。自立支援協議会より研修会の案内を行う。また、重点報告を行う。</p> <p>2月13日に集合開催、22人参加(委託・計画)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課より、新1年生の放課後デイ相談・見学の流れについて報告する。 ・自立支援協より、報酬改定に関して、介護保険との連携に関する研修会に関して報告する。 ・重点報告を行う。 <p>3月12日に開催、(委託・計画相談)22人参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課より就学前の計画相談について、サービス担当者会議についての報告を行う。 ・各事業所より、報告を行う。
--	---

大津市ヘルプ事業所協議会

部会長：大岡 泰成(明日香の里)

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヵ月に1回奇数月の第3木曜日の午前に開催。 ・大津市内で障害分野でヘルプサービスを提供している居宅介護事業所が参加。大津市内の事業所の現状と課題を共有とヘルパーのスキルアップを目的として研修会を実施。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市内をサービス提供地域とする居宅介護事業所(常時15事業所程度が参加)
昨年度開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月18日に集合で開催する。12人参加。参加者自己紹介と、おおつ障害者プランの見直しに関してと、今年度の取り組みに関して話し合う。 ・7月13日に集合で開催、18人参加。協議会より報告する。また、移動支援に関する障害福祉課との意見交換、災害時のBCP策定に関する研修会体験について話し合う。 ・11月16日に集合で開催、17人参加。参加者自己紹介と事業所近況報告を行う。協議会より情勢報告、関係者より意見交換を行う。 ・3月14日に集合開催、 人参加。参加者自己紹介と事業所近況報告、研修についての報告を行う。また、報酬改定に関してと、移動支援プロジェクトに関して話し合う。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・重度訪問介護や行動援護の支援を実際に提供してくれる事業所が不足している。特に夜間や早朝にサービスを提供できる事業所が少ない。 ・ヘルパーの人材不足 ・移動支援における夜間早朝加算、緊急時加算、特別地域加算の制度化

グループホーム管理者会議

部会長：副島 哲(夢の木)

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、奇数月の第2木曜日に開催 ・市内のグループホーム事業所の責任者が参加以下のことを議論する。 ① 事業所間の情報共有 ② 入居者支援に対する職員の課題共有 ③ ホーム運営についての課題 ・部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局はおおつ福祉会、しが夢翔会、夢の木、株式会社 CampFire、協議会事務局の6名。
参加者	大津市内のグループホーム、障害福祉課管理係、事務局
昨年度の	・5月11日に集合で開催する。18人参加。自立支援協議会より報告と、障害福祉計画に

開催状況	<p>ついてアンケートの集計結果報告と、アンケートの結果を受けて、グループで話し合う。また各ホームからの報告を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月13日にオンラインで開催、11人参加。障害福祉課より報告、また、年間計画の検討を行う。障害福祉計画について話し合う。各ホームからの報告と情報共有をする。 ・9月14日に集合で集合開催、30人参加。障害福祉課より報告を行う。また、高齢障害者のケースについて報告を行う。(・おおつ福祉会、しが夢翔会のケース、ケアマネさんや後見人さんとの連携についてケアマネや成年後見人から助言)。その後「いま、悩んでいること」についてグループワークを行う。 ・11月9日に集合で開催、18人参加。報酬改定についての情報共有と意見交換を行う。また、各ホームからの重要報告の共有と意見交換を行う。 ・1月11日に集合開催、14人参加。障害福祉課からの報告とグループワーク(人材育成と不足、ケースの悩みなど、BCP作成、食材費高騰・災害備蓄などのテーマに分かれて) ・3月14日に集合開催、20人参加。障害福祉課より食材費、日用品費について報告を行い、質疑応答を行う。また、報酬改定について話し合う。各事業所の情報共有を行う。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム情報シートを作成 *今年度の予定 ・5月 提言書づくり① グループワークで抽出 ・7月 提言書づくり② (案)を検討する / 地域連携推進会議どうする? ・9月 虐待防止研修 現場支援者向け(知的障害・発達障害啓発キャラバン隊もセットで) ・11月 虐待防止研修 GH管理者向け(管理者が自事業所に持ち帰り虐待防止研修できるようになる) ・1月 楽しい報告会(GHでの実践で、こんないい感じに豊かな暮らしが取り組んでいます) ・3月 年度のまとめ

地域生活支援運営会議 ショートステイ連絡会

部会長：萩原友紀(ステップ広場ガル)

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奇数月第2水曜日の午前に場所は持ち回りで開催 ・事業所見学と事業所間での情報共有を行う。
参加者	<p>むくの木・ステップ広場ガル・伊香立の杜ショートステイ・びわこ学園医療福祉センター草津・びわこ学園医療福祉センター草津・住倉大津ショートステイ・ぽのハウス・ラシエル南志賀・るみえ・ひまわり・STARS 今堅田・地域生活支援拠点コーディネーター</p>
昨年度開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8月9日に集合開催、6人参加。前半はびわこ学園医療福祉センター野洲を見学、後半は各事業所からの現状と課題について話し合う。 ・10月11日にオンライン開催、6人参加。各事業所からの現状と課題について話し合う。また、自立支援協議会事務局よりコロナ対策、情報提供、BCP計画の作成について話し合う。 ・2月14日に集合開催、6人参加。現状課題について、資源の確認、報酬改定について共

	有する。また、各事業所プロフィールシートの共有を行う。
今年度の取り組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から地域生活支援拠点運営会議の一つとして実施。緊急時対応の状況把握を行う。 ・昨年度に引き続き事業所見学会を予定。 ・短期入所情報シートを作成

地域生活支援拠点運営会議精神分野ワーキング

部会長：種村 直典（オアシスの郷）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数月の第2金曜日の午前に開催 ・「精神障害者にも対応した～地域包括ケアシステムを見据え、「自立生活援助事業」と「地域定着支援事業」を活用した単身生活を送る方のための24時間サポートセンターの設置と地域移行して単身生活を送るにあたっての「地域生活アセスメント委員会」の設置について検討を行う。
参加者	夢の木、オアシスの郷、共栄サポート、障害福祉課、宇治おうばく病院、湖の子会 相談支援事業所トモ、滋賀里病院、大津市保健所保健予防課、学識経験者
昨年度開催状況	<p>4月14日に集合で開催、10人参加。目的・理念の確認と地域の現状や課題、地域生活能力やサポート体制について話し合う。また自立生活援助事業、24時間サポートセンターについて話し合う。</p> <p>6月9日に集合とオンラインで開催する。11人参加。地域生活能力アセスメントの審査の仕方について検討し、模擬審査をする。</p> <p>8月18日に集合とオンラインで開催、11人参加。アセスメントシートを作成してみたところでの感想を話し合う。</p> <p>10月13日にオンライン開催、8人参加。現状の確認を各事業所から報告する。また、事例検討を行う。</p> <p>12月8日に集合で開催、12人参加。これまでの経過を報告し、2024年の報酬改定について、また、包括的支援事業について意見交換を行う。</p> <p>2月9日に集合とオンラインで開催、11人参加。前回の確認と、報酬改定等の情報共有、アセスメント委員会より報告。また、各項目について話し合う。</p>
今年度の取り組み	<p>アセスメント委員会のデモンストレーションの実施</p> <p>サポートセンター設置に向けた意見交換の実施</p>

地域生活支援拠点運営会議地域移行ワーキング

部会長：木村 和弘（ステップ広場ガル）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・3か月に1回程度開催 ・入所施設利用者の重度高齢化の中で今の暮らしの再検証を行うと同時に本人の意思決定支援を尊重しながらよりよい暮らしの在り方の検討と必要に応じて本人のケアに適した移行先の検討を行う。
参加者	ステップ広場ガル、みゆう、障害福祉課、滋賀県医療的ケア児者支援センターこあゆ、地域生活支援拠点コーディネーター
開催状況	:6月28日に集合で開催する。7人参加。モデルケース状況報告を行う。また、多機能拠点事業所が来年度開設される中でのガルからの移行に関する取り組み状況と、移行に関する

	<p>る取り組みと課題について話し合う。</p> <p>10月11日に集合で開催、7人参加。モデルケース状況報告と、多機能拠点事業所が来年度開設される中でのガルからの移行に関する取り組み状況について話し合う。</p> <p>1月11日に集合開催、6人参加。モデルケース状況報告、多機能拠点事業所が来年度開設される中でのガルからの移行に関する取り組み状況、地域生活支援拠点運営会議地域移行ワーキング報告書に関して、次年度の本ワーキングの在り方について話し合う。</p>
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行ワーキングの取り組みをまとめた報告書に関する報告会の開催 ・ステップ広場ガルからの日中部分も含めた地域移行に関する事例の共有と検討

就労支援部会

部会長：平山真司（咲くら）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奇数月の第4木曜日開催。時間帯は企業就労に関する企画は午前、それ以外は夕方に基本開催。 ・就労支援事業所のスキルアップと連携強化を目指した研修会を開催。また、進路調整に関する共有や就労アセスメントの在り方に関して検討を行う。 ・部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、北大津養護学校、障害福祉課、社会就労センターこだま、れもん会社、マノーナファーム、働き暮らし応援センター、事務局の7名。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・おおつ働き暮らし応援センター、障害福祉課、北大津養護学校、草津養護学校、北大津高等養護学校、滋賀大附属特別支援学校・大津市内就労移行支援事業所、大津市内就労継続支援事業所
昨年度開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・6月22日に集合とオンラインで開催する。31人参加。情報シートを基に自己紹介を行う。また、大津市「就労体験事業」について、大津市障害福祉計画についての報告を行う。 ・7月27日に集合で開催、17人参加。BCP策定についての研修(グループワーク)を行う(事業所向け)。 ・10月24日に集合で開催、27人参加。虐待防止、身体拘束適正化についての研修。講師：虐待防止センター 伊関氏。また、就労選択支援について話し合う。 ・11月30日に障害福祉課と共催で進路検討会議を集合開催、28人参加。進路調整の状況共有と進路検討の課題についてグループワークを行う。 ・1月18日に集合開催、32人参加。大津市障害者就労体験事業の実施結果について(事務サポートセンター・仲野様)、就労選択支援事業ができた経緯について(あすこみっと 統括センター長・河尻様)より報告を受ける。 ・3月21日に集合・オンライン開催、30人参加。自己紹介と事業所の現況報告、事務局より全体報告会について報告する。また、来年度の予定、今年度の振り返りについて話し合う。
今年度の取り組み予定	<ul style="list-style-type: none"> ・就労系事業所の情報シートを作成 * 今年度からの取り組み ・今年度から、就労系の通所事業所向けの研修及び意見交換会と別におおつ働き暮らし応援センター企画の企業就労に向けた研修及び意見交換会を年3回開催する。 * 年間予定

	<p>4月:(事務局)</p> <p>◎5月:(全大会)①各事業所より、今年度の体制について(事業所シートをもとに) ②報酬改定についての意見交換</p> <p>★6月:(企業就労)6月27日予定</p> <p>●7月:(就労系サービス)②相談支援との連携、意思決定支援</p> <p>★9月:(企業就労)</p> <p>10月:(事務局)</p> <p>11月:進路検討会議</p> <p>●12月:(就労系サービス)③虐待防止研修</p> <p>★1月:(企業就労)</p> <p>●2月:(就労系サービス)④就労選択支援</p> <p>◎3月:(全大会)</p>
--	--

大津ならではの就労移行支援部会

代表:白杉 滋朗(におの浜スコラ)

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月~3ヶ月に1回程度の割合で開催。 ・大津市内のおおつならではの就労移行支援の事業に取り組む事業所と特別支援学校の進路担当者が集まり、ニーズ把握や各事業所の事業内容や利用者状況の共有を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・おおつ働き暮らし応援センター、障害福祉課、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大附属特別支援学校、れもん会社、くれおカレッジ、におの浜スコラ、きずな
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月23日に集合で開催する。12人参加。各事業所より報告をし、現在の利用者の状況を確認する。また、今後の会議内容について話し合う。 ・10月24日に集合で開催、12人参加。各事業所より現状報告及び、各高等部から2023年度の進路概況の報告をする。また、就労選択支援事業について、今後の会議内容についての話し合いをする。 ・3月12日に集合で開催する。12人参加。各事業所より報告をし、現在の利用者の状況を確認する。また、今後の会議内容について話し合う。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・11月3日に皇子山体育館にておおつならではの就労移行支援に関する生徒及び保護者対象の報告及び各事業所体験説明会を開催予定

日中支援部会

部会長:飯田京子(さくらはうす)

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回開催。偶数月の第4月曜日の16:00~ ・大津市内の生活介護事業所が集まり、各事業所の利用者状況や運営課題の共有、各事業所の実践報告、生活介護事業所の職員向けの研修会を開催。生活介護事業所のネットワークの構築と支援者の育成を図る。
参加者	<p>大津市内の生活介護事業所、北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大附属特別支援学校、障害福祉課</p>
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4月24日にオンラインで開催、17人参加。自己紹介と各学校、協議会より報告を行う。 ・8月28日にオンライン開催、16人参加。虐待防止と身体拘束についての研修(講師:

	<p>さくらはうす 久保多幸氏)、各事業所より、虐待防止・身体拘束の取り組みについて報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月23日にオンライン開催、16人参加。BCP策定の演習を行う。 ・2月26日にオンライン開催、19人参加。情勢報告(報酬改定、自立支援今日の取り組み、)各事業所・学校からの報告、今後の生活介護の進路調整のあり方に関して、日中支援部会のあり方に関して話し合う。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は年間5回の開催。 ・生活介護に関する情報シートを作成 ・日中支援部会の中で進路調整会議を今年度から開催。それにあたり、北大津養護学校及び草津養護学校で高等部の見学会を6月、7月と実施。 ・生活介護の運営に関して、各事業所が知りたいことや課題の情報共有を行う。意思決定支援の推進や身体拘束の適正化に向けた取り組み、個別支援計画の作成等 ・今年度から大津市及び大津市虐待防止センターと連携して各事業種別部会で虐待防止研修を開催予定。

精神福祉部会

部会長：西川 健一(おおつ働き暮らし応援センター)

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回、奇数月の第2金曜日の午後に開催 ・部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、保健所保健予防課、障害福祉課、オアシスの郷、事務局の6名。 ・精神障害の方を取り巻く地域の課題を共有と精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた検討を行う。
参加者	<p>ほわいとクラブ・りぼーンスイッチ・ぽっとらっく・若鮎の家・蓬萊の家・夢の木・ぴあ☆らぼ・訪問看護ステーションひまり・琵琶湖病院・滋賀里病院・瀬田川病院・湖南クリニック・精神医療福祉センター・障害福祉課・大津市保健所保健予防課・オアシスの郷・おおつ働き暮らし応援センター・大津若者サポートステーション</p>
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月12日にオンラインで開催する。18人参加。自己紹介と事業所の近況報告を行う。市の障害福祉計画の見直しに向けた取り組みとして、精神科病院へのアンケート調査を実施。6年前と比較し、大津市の障害者を取り巻く現状と課題を整理する。 ・事務局会議を6月7日に集合で開催する。9人参加。前回部会の振り返りと、精神科病院の長期入院者への実態調査に関する報告を行う。また、今後の部会運営に関して話し合う。 ・8月18日にオンライン開催、21人参加。自己紹介と事業所の近況報告(近況報告、運営での課題、新たな取り組み)を行う。令和5年度大津市内精神科病入院者実態調査速報値の共有、大津市障害者プランアンケート調査結果報告を行う。また、調査結果から障害者プランに反映させたいことに関して意見交換を行う。 ・10月13日にオンライン開催、21人参加。自己紹介と事業所の近況報告、運営での課題、新たな取り組みを話し合う。令和5年度大津市内精神科病入院者実態調査の分析として、アンケートの内容をもとにどのように部会を運営していくかを検討する。 ・1月12日に事務局会議をオンラインで開催する。8人参加。前回の振り返りと次回の部会に関して、研修に関して話し合う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・2月9日にオンライン開催、20人参加。自己紹介と事業所の近況報告(近況報告、運営での課題、新たな取り組み)を行う。大津市の医療費助成制度の拡充に関して行政説明をする。大津市の重層的支援事業に関して学習会を行う。 ・3月8日に精神福祉部会でメンタルヘルスに関する地域包括ケアシステム研修として大阪人間科学大学人間学部社会福祉学科准教授の吉池 毅志先生を招いて「大津の精神保健福祉医療において今私たちにできることを考える～近年の精神保健福祉に関する法改正の動向をふまえて～」というタイトルで話題提供をいただき、精神科病院入院者実態調査報告とグループワークをする。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は市内精神科病院での開催を何回か実施予定。 ・5月10日(オンライン) かけはしの取り組み報告。 ・7月18日(集合) 滋賀里病院にて滋賀里病院の紹介と院長先生の講話と精神保健法改正について辻本先生より説明 ・9月13日(集合) 琵琶湖病院予定。地域移行先としての日中サービス支援型ホームの状況共有、事例検討 ・11月8日(未定) 重層的相談支援体制の取り組みに関して ・1月10日(未定) 長期入院へのアプローチ為の取り組みについて。 ・3月14日(研修会) メンタルヘルスに関する地域包括ケア研修会 2024年度

発達障害者支援部会

部会長：小崎太陽(発達障害者相談支援センターかほん)

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、奇数月の第一金曜日に開催 ・部会の活性化のために事務局会議を設定。事務局は部会長、すこやか相談所、協議会事務局の6名。 ・今年度は以下の課題を重点的に検討。 ① 連携の質を高め、他分野・他事業所を知るための参加している各事業所からの取り組み報告 ② 高機能発達障害の方の対応に関して参加している機関より「ウチじゃない?」「どこに相談すれば?」「頓挫する」事例集約と、対応検討(個別に、および、圏域として)
参加者	<p>発達障害者支援センターかほん・子ども発達相談センター・滋賀県発達障害者支援センター・障害福祉課・健康推進課・オアシスの郷・やすらぎ・生活支援センター・大津若者サポートステーション・おおつ働き暮らし応援センター・滋賀県引きこもり支援センター・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校・比叡山高校・放課後等デイサービス「フレンズ」・花きりん・セレンディップ・ハーフステップ</p>
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月2日に事務局会議を開催する。12日に部会を集合で開催する。26人参加。自己紹介と全体の状況の共有をする。また、大津市発達障害児者支援において、各機関で道筋が見えないケースの集約をおこなう。 ・7月14日に集合で開催、22人参加。自己紹介、全体の状況の共有、提言書(案)の共有をグループワークする。 ・9月6日に集合開催、21人参加。自己紹介と、国・県・全体の状況の共有を行う。また、重層的支援体制整備に関して、1)事業の概要説明と 2)関連する事業所・事例の共有を行い、

	<p>参加者との質疑応答をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月10日に集合で開催、15人参加。国、全県、市全体の状況共有をする。「重層的支援体制整備事業」に関して、説明と意見交換を行う。説明者:大津市福祉政策課 小石様、淀様 ・1月12日に集合開催、21人参加。障害者プランに関して、事例検討とグループワークを行う。 ・3月9日に集合開催、22人参加。国・全県・市全体の状況の共有として、大津市から新しい「障害者プラン」について、滋賀県から自閉症啓発デー、国からは障害福祉サービス等報酬改定についての情報共有する。今年度の振り返りと来年度計画を話し合う。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・第3金曜 AM に、集合形式 を基本に開催 ・5月31日(金) ①昨年度の振り返り(提言書) → 今年度からの障害者プランの共有・質疑 ②各事業所紹介(パンフレットあり。パンフレットへの質問や改善提案を含む。) ③ 今年度計画 ・7月19日(金)【不登校】 <ul style="list-style-type: none"> ① 施策レクチャー(市教委より) ② 個別サポート加算の利用状況など ③ 登校拒否・不登校問題滋賀県連絡会より ・9月20日(金)【保護者の思いを知る】 (幼少期からのあれこれ、こんな支援があれば・あって良かった、こんな支援・仕組みを求めます) ・11月15日(金)【重層的支援体制整備とその後】 <ul style="list-style-type: none"> ① 成果や課題 ② 各事業所等で関われそうな形 ・1月17日(金)【就労選択事業について】R7年10月~ <ul style="list-style-type: none"> ① 事業内容のレクチャー(障害福祉課? 就労支援部会より? 部会事務局?) ② 質疑応答・グループワークなど ・3月21日(金) 来年度計画立案

高次脳機能障害連絡会議

報告者: 松岡啓太(自立支援協議会事務局)

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回程度開催 (1) 連絡調整会議(ネットワーク会議)の開催等 圏域内の医療(リハ含む)・介護・保健・福祉・労働等の関係機関の参画による連絡調整会議を定期的で開催し、高次脳機能障害を持つ当事者・家族を支えるための圏域内の課題整理や解決に向けた方策の検討を行う。 (2) 研修会・事例検討会の開催等 高次脳機能障害の支援に向けた人材育成や啓発を目的とした研修会、支援の向上のための事例検討会等を実施する。
参加者	<p>オアシスの郷、じゅぶ、相談支援事業所ぐっど、おおつ働き暮らし応援センター、大津市介護支援専門員協会、大津市権利擁護サポートセンター、大津赤十字病院</p>

	琵琶湖中央リハビリテーション病院、滋賀医大病院、まちかどプロジェクト、いしづみ滋賀県むれやま荘 高次脳機能障害友の会、大津市障害福祉課、大津市保健所保健予防課、県立リハビリテーションセンター、滋賀県高次脳機能障害支援センター、県障害福祉課
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月16日に集合とオンラインで開催する。24人参加。参加者自己紹介と近況報告、高次脳機能障害者支援センターより報告、事例検討(ふれあいサポート小野ケアステーション 門田さんより)、今年度の連絡会議の取り組みについて話し合う。 ・8月23日に集合とオンラインで開催、28人参加。参加者自己紹介、おおつ障害者プランの見直しに伴う当事者アンケート結果の報告、事例検討「いしづみ」より報告、10月の研修会の開催に関して話し合う。 ・11月14日に集合とオンラインで開催、23人参加。参加者自己紹介と近況報告、情勢報告(高次脳機能障害支援センターより)、おおつ障害者プランの見直しに伴う当事者アンケート結果の報告、今年度の研修会の開催に関して話し合う。 ・2月25日に第5回大津圏域高次脳機能障害連絡調整会議(研修会)を行う。会場14人参加、ウェビナー配信30人参加。まちかどプロジェクト報告、また、各事業所からの報告と意見交換を行う。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> (1) 連絡調整会議(ネットワーク会議)の開催等 <ul style="list-style-type: none"> ・年4回予定(8月、12月、3月) ・8月は施設見学(いしづみ)を予定 (2) 研修会・事例検討会の開催等 <ul style="list-style-type: none"> ・秋(10月頃)に開催予定。今年度は集合でグループワークも行う方向で検討。

行動障害部会

部会長：三ツ谷尚(むくの木)

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回、奇数月の第4月曜日の夕方に伊香立の杜で開催 ・「大津・湖南行動障害支援ネット」の後を受けて、平成24年にスタート。 ①議論している内容 <ul style="list-style-type: none"> i - ケース検討と共有 <ul style="list-style-type: none"> ・参加事業所でのいわゆる困難ケースに関して、アセスメントや支援のアイデアについて相談の場となる。 ii - iで用いる部会の共通フェイスシート書式の作成・活用と、その過程での支援観共有・統一 iii - 滋賀県行動障害ネットワークの内容共有とそれを受けた圏域での議論 <ul style="list-style-type: none"> ・別紙参照：大津圏域の「行動障害支援」に関する課題整理票 ・地域生活支援拠点運営会議の一つとして行動障害部会コア会議を開催。強度行動障害児者集中支援モデル事業に関して、支援対象者の協議や事業報告を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・伊香立の杜・大津市発達障害者支援センターかほん・ステップ広場ガル ・ぽかぽか・いちばん星・さくらはうす・木輝・唐崎やよい作業所・愛育苑・近江学園・三雲養護学校・北大津養護学校・草津養護学校・滋賀大附属特別支援学校 ・みゆう・ひびき・生活支援センター・大津市障害者虐待防止センター

<p>昨年度の開催状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5月2日に事務局会議を行い、8日に部会をオンラインで開催する。15人参加。自己紹介と市の福祉計画の見直しに向けての提言を行う。また、ケース関係の情報提供・検討・相談を行う。国、全県、市町村全体の状況の共有と部会で取り組みたい事を話し合う。各事業所より相談・報告を行う。 ・7月10日に集合とオンラインで開催、16人参加。自己紹介と市・福祉計画の見直しに向けて提言を行う。また、行動障害に関する大津市の課題整理の確認と、ケース関係の情報提供・検討・相談を行う昨年度ケース・卒業～事業所へケースの様子確認を行う【愛育苑、北大津養護学校、みゆう・草津養護学校より】。情勢(国・全県・市全体の状況の共有)・施策各事業所より、相談・報告などを話し合う。 ・9月11日に集合開催、15人参加。愛育苑にて開催し、最初に施設内見学を行う。その後、事例検討をする。(ひまわりはうす:山口氏) ・11月13日に集合で開催、17人参加。自己紹介とケース関係の情報提供、検討、相談(北大津養護学校より3人・みゆう、草津養護学校1人・愛育苑2人)。その後北大津養護学校の見学、進路状況の確認、国、全県、市全体の情勢・施策の共有を行う。各事業所より、相談・報告など。 ・1月15日にオンライン開催、12人参加。ケース共有、中核的人材研修報告、障害者プラン素案について話し合う。
<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「行動障害部会 利用者フェイスシート」と「行動障害部会 ケース検討シート」を用いてケース検討。毎回1～2ケースで下記の通りケース検討を進める。 ① 利用者のケース概要・アセスメント・支援課題の説明(行動障害部会 利用者フェイスシート、その他支援計画シート・手順書など) ② 施設見学 ※当日の部会をケース検討するケースの事業所等で開催できた場合 ③ グループワーク(行動障害部会 ケース検討シート) ④ 発表・共有 ・地域生活支援拠点運営会議の一つとして行動障害部会コア会議を開催。強度行動障害児者集中支援モデル事業に関して、支援対象者の協議や事業報告を行う。

重症心身障害児者及び医療的ケア児支援協議会

部会長：飯田 京子(知的障害児者地域生活支援センター)

<p>部会等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市において医療機関と福祉機関の連携の充実を図り、医療的ケアの必要な方が地域で安定して暮らすための構築を図るための共有と協議の場として開催。福祉、教育、保健、医療等それぞれの立場の方に参加してもらっています。なお、協議会では、3つのワーキング会議(①進路調整 ②医療連携 ③看護連携)を開催して下記5つの取り組みを実施。 ① 地域の医療的ケア児及び重症心身障害児者の実態調査の実施 ② 個別ケースの事例検討会の実施 ③ 制度施策に関する研修 ④ 参加している、関係機関からの現状と課題の報告、課題に対する検討 ⑤ 地域への広報啓発活動
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課、健康推進課、学校教育課、生活支援センター、やまびこ相談支援事業所、

	<p>大津市内の重症心身障害者が利用している生活介護施設、びわこ学園医療福祉センター草津、訪問看護ステーション、放課後等デイサービス、北大津養護学校及び草津養護学校の進路担当、バクバクの会。</p>
<p>昨年度の開催状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療連携に関する検討会を5月8日にオンラインで開催する。19人参加。会議目的の確認、参加者自己紹介及び各機関の紹介と現状を報告しあう。また、情勢報告、大津市の医療的ケア児者の支援体制の確認と意見交換、事例検討を行う。 ・進路調整に関する検討会を5月24日にオンラインで開催、12人参加。各生活介護の現状(定員、平均利用実績、今後の受け入れ枠、運営の課題)の報告と各学校より重心及び医療的ケア児の卒業後の進路に関する現状、重心及び医療的ケア児の卒業後の進路調整及び生活介護の運営に当たり意見交換を行う。 ・重心医ケア部会(医療連携)を7月10日にオンラインで開催、17人参加。自己紹介及び各機関の紹介と現状の報告をする。情勢報告(大津市、県の取り組み、資源マップ)と、事例検討をする。 ・進路調整に関する検討会を10月25日にオンラインで開催、12人参加。各生活介護の現状(定員、平均利用実績、今後の受け入れ枠、運営の課題)の報告と各学校より重心及び医療的ケア児の卒業後の進路に関する現状、重心及び医療的ケア児の卒業後の進路調整及び生活介護の運営に当たり意見交換を行う。また、地域で医療的ケア児を支援する看護師へのフォローアップについて話し合う。 ・医療連携に関する検討会を10月30日にオンライン開催、18人参加。自己紹介及び各機関の紹介を行う。情報提供として、①報酬改定に関して②おおつ障害者プランの見直しに伴う当事者アンケートの報告を行う。また、地域の学校の医療低ケア児の状況と、事例報告として、カニューレフリーの方の喀痰吸引に関しての報告を行う。災害時の呼吸器の方の電源確保に関して話し合う。 ・医療連携に関する検討会を3月4日にオンライン開催、17人参加。報酬改定に関しての情報提供、医療的ケア児等学校保育医療福祉連携体制構築の取り組みに関しての報告を行う。大津市の医療的ケア児の放課後等デイサービスの状況を各事業所から報告する。 ・医療的ケア児者の災害時の電源確保について考える研修会を3月11日に行う。45人参加。講師:草野 慎吾氏(私立長浜病院 臨床工学技師課) ・進路調整に関する検討会を3月13日に集合・オンライン開催。11人参加。各生活介護の現状(定員、平均利用実績、今後の受け入れ枠、運営の課題)について話し合う。また、各学校より重心及び医療的ケア児の卒業後の進路に関する現状について報告を行う。
<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①進路調整に関する検討会 <ul style="list-style-type: none"> ・北大津養護学校と草津養護学校、それぞれの学校の重症心身障害及び医療的ケアの方のクラスの見学会を秋に実施。 ②医療連携に関する検討会 <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児等コーディネーターより事例報告と意見交換を年3回実施予定 ③看護連携に関する検討会 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度下半期に福祉事業所等で働く看護師の方に集まってもらっての意見交換会を一度開催予定

北部ネットワーク協議会

部会長：黒川 真友（おおつ福祉会法人本部・伊香立の杜）

部会概要	<ul style="list-style-type: none">・3か月に1回、偶数月の第2月曜日の午前に伊香立の杜で開催・大津市の北部で支援をしている事業所の課題の共有と今後の資源整備に関して検討を行う。・各分野別（就労、精神の方の支援、行動障害を呈する方の日中支援、居住支援、相談支援、居宅介護、児童の支援）に現状把握と課題整理を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・障害福祉課、大津市湖西側にある障害福祉サービス事業所、障害児者と支える人の会、北大津養護学校の教員及びPTA
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none">・4月17日に集合とオンラインで開催、24人参加。各事業所の現状報告（各事業所の今年度体制、利用者契約及び空き状況、運営課題等）と、協議会からの報告、大津市北部の障害福祉施策及び資源整備に関するご提案、各事業所から見て必要と思われる資源について話し合う。・6月19日に集合とオンラインで開催する。情勢報告として、国の動向と北部の資源整備に関して、また協議会からの報告を行う。各事業所の現状報告（各事業所の近況、災害対応に関する取り組み等）と、災害対応に関しての話し合いをする。・10月16日に集合とオンラインで開催、22人参加。情勢報告と、北部の資源整備について話し合う。また、各事業所の現状報告障害者プランに関する報告を行う。・2月19日に集合とオンラインで開催、15人参加。情勢報告、北部の資源整備に関して、各事業所の現状報告（各事業所の近況、今回の報告に関するご意見）を行う。

南部これから検討会

部会長：中崎 ひとみ（共生シンフォニー） 藤木 充（しが夢翔会）

部会概要	<ul style="list-style-type: none">・3ヶ月に1回奇数月の第1水曜日の午後にステップ広場ガルで開催・大津市の南部で支援をしている事業所の課題の共有と今後の資源整備に関して検討を行う。・各分野別（就労及び移行支援、重心の方の日中通う場、精神の方の支援、行動障害を呈する方の日中支援、居住支援、相談支援、居宅介護、児童の支援）に現状把握と課題整理を行う。・大津市南部の通所事業所で送迎の共同運行の取り組みを検討。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・障害福祉課、大津市南部にある障害福祉サービス事業所、障害児者と支える人の会、草津養護学校進路担当及びPTA
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none">・9月6日に集合とオンラインで開催、11人参加。南部の情勢報告等、参加者より近況の報告を行う。新規事業所紹介 KARAHASHI. DECK 体調不良で欠席のため、次回報告予定。おおつ障害者プランに関して報告と意見交換、今年度の運営について話し合う。・11月1日に集合とオンラインで開催、12人参加。大津市より情勢報告、また、草津養護学校PTAより報告を行う。参加者より近況報告と意見交換を行う。・1月10日に打ち合わせをする。・3月15日に集合とオンライン開催、12人参加。情勢報告、資源整備に関して、能登半島地震を受けて、福祉避難所の在り方・大津の障害者の災害時支援に関して話し合う。

	参加者より近況の報告と意見交換を行う。
--	---------------------

差別解消部会

部会長：奥村 清和（大津市視覚障害者協会）

副部会長：石黒 賀津子（大津市障害児者と支える人の会）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回程度開催。 ・参加団体及び大津市の地域アドボケーターからの報告、合理的配慮の事例集及びバリアフリーチェックの検討、災害時の対応に関する研修会の企画等を行う。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市ろうあ福祉協会、障害者差別のない大津をめざす会、視覚障害者協会、身体障害者更生会、滋賀県大人の発達障害者の会、高次脳機能障害友の会、大津市障害児者と支える人の会、ピアサポート WISH、滋賀県難病連大津支部、、法テラス、生活支援センター、オアシスの郷、障害福祉課
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月9日に集合で開催する。22人参加。参加者自己紹介(氏名、所属)と各団体活動報告を行う。情報提供及び活動報告、障害福祉課より報告を行う。その他、びわ湖大花火大会におけるバリアフリー対応に関する提言を行う。 ・7月19日に集合で開催、21人参加。参加者自己紹介(氏名、所属)と各団体活動報告、今後の部会運営に関して情報提供及び活動報告をする。障害福祉課より(小蒔氏より)。災害時の研修に関して、びわこ花火大会における合理的配慮に関する要望書提出、JR西日本との駅の無人化問題に関する交渉に関して、について話し合う。 ・10月10日に集合で開催、15人参加。参加者自己紹介と各団体活動報告をし、今後の部会運営に関して話し合う。また、情報提供及び活動報告、障害福祉課より報告を行う。災害時の研修に関して話し合う。 ・12月19日に集合で開催、人参加。参加者からの活動報告を行う。また、合理的配慮事例集の作成に関して、差別解消地域支援協議会に関して、バリアフリーチェックの今後の取り組みに関して、部会としての取り組みに関して話し合う。 ・2月6日に集合で開催、18人参加。参加者自己紹介と各団体活動報告、情報提供を行う。また、障害福祉課より報告、災害時の研修に関する報告を行う。 ・3月26日に集合開催、16人参加。参加者自己紹介(氏名、所属)と各団体活動報告、情報提供及び活動報告を行う。障害福祉課より連絡を行う。災害時の研修に関して話し合う。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・6月13日に研修「発災時の避難(所)などでの障害のある方との助け合いを学ぶ」を実施。当日は大津市地区民生委員児童委員協議会障害者部会の方対象が90人近く参加。大津市における災害時の障害者避難の取り組みの行政からの現状報告(避難行動要支援者台帳、一般の避難所における配慮の現状、個別避難計画と福祉避難所)と差別解消部会のメンバーである7つの当事者団体が登壇してリレートーク「安心して避難ができる「おおつ」をめざして」を実施。 ・駅の無人化問題に関して下半期に JR 西日本と意見交換を予定

人材育成部会

報告者：坂本彩（自立支援協議会事務局）

<p>部会概要</p>	<p>・大津圏域の障害福祉を担う人材の育成と質の向上のための研修の企画運営を行う。</p>
<p>開催状況</p>	<p>・5月30日におおつ合同新人研修を集合で開催する。41人参加。「対人援助とは」講師：大津市障害者自立支援協議会 坂本彩 ①アイスブレイク・自己紹介 ②DVD視聴 ③グループワーク 講義「大津の障害福祉 その1」講師：大津市障害者自立支援協議会 松岡啓太</p> <p>・6月8日におおつ合同新人研修第2回(就労)をオンラインで開催、33人参加。1, 大津の障害福祉②「大津における障害福祉の状況とサービス利用について」講師：生活支援センター・松岡啓太氏 2, おおつの就労支援について～おおつ働き・暮らし応援センターの役割～講師：おおつ働き・暮らし応援センター・前田氏</p> <p>・7月6日におおつ合同新人研修「虐待防止研修・基礎の基礎」を集合で行う。37名参加。講義「障害のある方の権利を護る障害者虐待防止法(基礎編)」講師：大津市障害者虐待防止法センター、伊関信博氏・「当事者が言いたい事」オフィスゆうき、中川祐希氏。その後、寸劇を見て、グループワークを行う。</p> <p>・8月1日におおつ合同新人研修4回目を集合開催、受講者34人参加。身体障害のある方への支援について。(講師：地域生活サポートセンター じゅぶ 染井将仁氏・オフィスゆうき 中川祐希)グループワークと質疑応答を行う。</p> <p>・9月11日に大津圏域行動援護フォローアップ研修を集合開催。受講者15人。</p> <p>・10月6日に集合でおおつ合同新人研修を集合で開催する。35人(受講生)参加。当事者と話し、知的障害についての講義を行う。その後振り返りをする。当事者のお話は、講師：横川豊隆氏、知的障害者についての講師：坂本 彩氏。</p> <p>・11月19日に大津市障害者自立支援協議会・滋賀県相談支援専門員協会共催研修を開催。参加者はやまびこ総合支援センター会場参加12人、オンライン参加13人、後日配信参加61人。研修テーマ「境界線について」講師：中島幸子(レジリエンス)</p> <p>・1月23日に地域支援における抱え上げない介護研修会をさくらはうすと共催で開催。受講者8人。ノーリフトの目的、行うことのメリットを中心に前半は講義を聞き、後半はスライドシートとスライドボードの体験をする。</p>
<p>今年度の取り組み</p>	<p>・新人研修(全9回)5月~11月にかけて実施。</p> <p>・大津市障害者虐待防止全体研修:8月6日午前に開催予定</p> <p>・意思決定支援研修:未定</p> <p>・障害者支援者対象性風俗についての研修:8月23日午前に開催予定(輝き製作所)</p> <p>・性暴力・性的虐待を受けた人への支援:未定</p> <p>・虐待被害にあった人への対応心得(おうみ犯罪被害者支援センター):未定</p>
<p>子ども部会 部会長：小川</p>	<p>就学前グループ ことゑ (やまびこ園・やまびこ教室)</p>
<p>部会概要等</p>	<p>・乳幼児期の制度やサービス利用にあたっての課題の整理</p> <p>・乳幼児期の制度、施策の見直し・検討</p> <p>① 発達支援システム等の再構築について</p> <p>② 医療的ケア児・重心児に対する課題の共有と具体的な取り組みについて</p> <p>③ 相談支援事業所のあり方検討について</p>

	④ 民間発達支援事業所との連携強化に向けた方策検討について
参加者	健康推進課・子ども発達相談センター・やまびこ園(教室)・わくわく・のびのび子育て総合支援センター・幼児政策課・保育幼稚園課・やまびこ相談支援事業所 障害福祉課・児童クラブ課・学校教育課・教育相談センター・民間児童発達事業所
昨年度の開催状況	・7月28日に集合開催。16人参加。新1年生説明会の進捗状況の共有、放課後デイサービスや計画相談の「フライング?契約」について意見交換を行い、事例報告を各事業所から行う。 ・9月22日に集合開催、18人参加。放課後デイサービスや計画相談の「フライング?契約」について協議を行い、事例報告を各事業所から行う。 ・3月8日に集合開催、18人参加。自己紹介と今年度新1年生説明会の報告を行う。また、やまびこ、わくわく相談支援事業所のケース共有、放課後等デイサービスや計画相談の移行について話し合う。
検討課題	・今年度も年3回開催予定 ・民間の児童発達支援の事業所も入れて事例報告・検討・悩んでいるケース等のピアビジョンを行う。

放課後事業所連絡会

部会長：野間 紀彦（放課後等デイサービス 『風和々～ふわわ～』）

部会概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市でサービスを提供している放課後等デイサービス、児童を対象にした日中一時支援事業所が参加。 ・事業所同士の近況報告および制度や支援方法等に関する情報交換会や研修会を開催。 ・「支援の質の向上」を目指して以下のことを大切にしている ・(1)学校との連携 ・(2)地域全体の課題の中での自分たちの役割 ・(3)人材育成のための研修（事例検討、交流研修会）
参加者	・大津市をサービス提供地域とする放課後等デイサービス事業所、児童を対象にした日中一時支援事業所
昨年度の開催状況	<p>・5月12日に集合で開催する。30人参加。障害福祉課より集団指導と児童支援員の加算扱いについての説明、送迎車の安全装置設置の義務化について説明を行う。グループワークでは、①コロナ禍後の感染予防対策や活動内容について、②BCP作成に向けて避難訓練の取り組みについて話し合う。</p> <p>・7月14日に集合で開催、23人参加。障害福祉課より伝達事項の報告と、各事業所の現状報告を行う。送迎用バスの置き去り防止安全装置、サービス管理・児発管制度に係る告示改正、おおつ障害者プランなどについて話し合う。</p> <p>・9月8日に集合で開催、50人参加。連絡会参加者名簿について、連絡会議事録の運用について、おおつ障害者プランへの放課後事業所連絡会としての提言について報告する。また、BCPについて、感染症対策委員会について、新一年生への対応について話し合う。</p> <p>・11月10日に集合で開催、72人参加。BCPについて、感染症対策委員会について、新一年生への対応について話し合う。また、安全計画について（障害福祉課・土居氏より）、児童クラブとの連携について（児童クラブ課・伊藤主査）より情報提供。</p>

令和6年7月19日(金) 13:30~15:30

大津市障害者自立支援協議会

	<ul style="list-style-type: none">・1月12日に集合開催、50人参加。BCPを策定するための書類とBCP策定のための研修の案内をする。また、感染症対策委員会について、安全計画について話し合う。また、報酬改定について、新1年生への対応について話し合う。・3月8日に集合開催、報酬改定・医ケア児のスコア表について、また、次年度サポートメンバーについて話し合う。講演：社会福祉法人びわこ学園公認心理師 石井裕紀子氏「支援を必要とする子どもの発達理解 ～「必要な支援」をとらえ、子どもの育ちを支えるために～」
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none">* 奇数月の第2金曜日に皇子が丘体育館大会議室にて集合形式で開催予定* 部会内容<ul style="list-style-type: none">・4月に報酬改定に関する障害福祉課から説明会、5月に安全計画及びお出掛け先・遊びについての情報共有会、7月に児童クラブとの交流会を実施。9月に子どもアドボカシー、11月に性教育に関する学習会を予定。* 令和6年度事務局体制<ul style="list-style-type: none">・代表 野間紀彦 風和々 一期二年目・副代表(北部) 後藤佐知夫 ふあぶふあむ 一期二年目・副代表(南部) 近藤理絵 あすなろ 一期二年目・北部サポートメンバー 松澤康史 それいゆ京町・北部サポートメンバー 平中慶人 みくる・南部サポートメンバー 南井啓輔 さくら南郷の家

学齢期トライアングルグループ

代表 山本 晃弘 (教育支援センター)

部会等	情報シートを作成して学齢期における「福祉」「学校」「家族」の連携を深める
参加者	大津市教育委員会学校教育課教育支援センター、晴嵐小学校、仰木中学校 * 大特連代表 滋賀県立北大津養護学校、草津養護学校、滋賀大学附属特別支援学校 ぐっどらいふ・ぐっどたいむ、ハーフステップ(石塚)、フレンズ、みゆう、風和々、放課後等デイサービスゆにこ、相談ぐっど、らん相談支援事業所、 大津市発達障害者支援センターかほん、相談支援事業所ひびき、自立支援協議会事務局、大津市障害福祉課
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none">・7月4日に集合で開催、18人参加。自己紹介とトライアングルプロジェクトの成り立ちについて再確認をする。また、新1年生の4月1日～入学式までの間に放課後デイを利用する際の証明についての現状、各機関、学校、事業所での「連携の課題」の情報共有を行う。・11月2日に集合開催、18人参加。重層支援対策室の紹介(辻様)を行う。また、巡回相談(OT加納)についての情報共有、質疑応答をする。
今年度の取り組み	・放課後等デイサービスで「障害のある不登校状態の児童へのサポート」をテーマに3回実施予定。不登校児の放課後等デイサービスの支援に関してガイドラインを検討中。

当事者部会

部会長：乾澤 正和 (身体障害者更生会)

部会概要等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定期開催 ・ 大津市障害者福祉センターに入っている各当事者団体が集まり、障害者施策に関する各団体の意見や要望についての共有
参加者	大津市身体障害者更生会、大津視覚障害者協会、中途失調難聴者協会大津支部、滋賀県脳卒中者友の会「淡海の会」、滋賀県難病連絡協議会大津支部、大津市障害児者と支える人の会、オストミー協会、ろうあ福祉協会、湖の子会、障害者スポーツ協会、
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催なし

移動支援プロジェクト

代表：染井 将仁（地域生活サポートセンターじゅぷ）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月に1回程度開催。 ・ 大津市の移動支援の在り方に関し検討を行う。昨年度はグループ支援や送迎支援に関して意見交換を行う。
参加者	①相談支援事業所：じゅぷ、いるか、生活支援センター ②移動支援事業所：かがやき（ヘルプ協代表）：寺田、ゆいヘルパーステーション、福祉会ヘルプ、スマイルケア、サポート楽 ③障害福祉課
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月14日にオンライン開催、8人参加。ヘルプ協議会の報告、アンケートの報告、ショート送迎に関して、今後のプロジェクトの進め方について話し合う。また、障害福祉課より情報提供を行う。 ・ 11月9日にオンラインで開催、7人参加。報酬改定の同行について、移動支援の取り扱いに関して、障害福祉課よりショートステイ送迎に関してについて話し合う。また、今後のプロジェクトの進め方に関して話し合う。

日中一時支援プロジェクト

代表：越野 緑（みゆう）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後等デイサービスの事業所が増えたのに伴い、児童に関しては軽度の知的障害の方の日中一時支援の利用は減っているが、一方では成人の方の通所後の夕方や週末の余暇の過ごしとしての利用の希望が増えている。また、現行の日中一時支援の制度では行動障害や重症心身障害の利用者を受け入れるための職員体制の確保や新規事業所の参入も困難であり、希望しても利用が困難な状況もある。そこで、大津市における今後の日中一時支援の在り方を検討して、それに添う制度の見直しを行い、日中一時支援事業所の拡充を目指す
参加者	①相談支援事業所：相談支援事業所みゆう、 ②日中一時事業所：あんど、おおつ福祉会、Brah-art、カラーズ、藤樹会、明日香の里、ベスティ、IL ガーデン ③行政：障害福祉課
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月14日にオンラインで開催、13名参加。各事業所の活動紹介とアンケート速報値の共有をする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・6月9日にオンラインで開催、13名参加。各事業所の活動紹介と話題提供、グループワーク（アンケートの感想とアンケートから見て取り組みたい事・ワークショップで意見交換したいこと）を行う。また、事業所向けワークショップの開催に関しての案について話し合う。 ・10月19日に集合開催、30名参加。日中一時事業所アンケートの報告を行う。また、重症心身障害の方の日中一時支援の状況報告（びわこ学園障害者支援センター所長 二宮裕香氏）と、クオケアにおける日中一時支援の取り組み（クオケア所長 山田俊也氏）の報告を行う。 ・1月11日に障害児者の支える人の会の保護者と意見交換会を行う。 ・2月2日にオンライン開催、10名参加。10月意見交換会の振り返りをする。また、1月保護者ヒアリングの報告と、日中一時支援の今後の在り方に関して意見交換を行う。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の見直しを大津市が行う場合はプロジェクト会議を再開させる。

高齢障害者プロジェクト 具体的な支援ワーキング

報告者：坂本 彩（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回程度開催。 ・支援者から高齢障害の支援で現場困っているケースの事例報告をしてもらい、課題解決に向けた事例検討を行う。その際に専門職にも入ってもらい助言をもらう。 ・高齢障害者の支援に関する障害福祉現場の底上げのための研修会の開催
参加者	<p>しが夢翔会（及川 NS、小池生活支援員）、 おおつ福祉会（黒川、倉田相談支援専門員）、 ケアマネ協（堀内、山本、細見）、 近江笑生会（富岡）、大津市障害福祉課（立仙）、 やまびこ支援センター（加納 OT、野村相談支援専門員） 大津市障害者自立支援協議会事務局（坂本）</p>
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3月13日に具体的な支援を考えるワーキンググループ研修会を集合で行う。16人参加。
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・大津圏域の障害福祉サービス提供事業所の高齢障害者の支援に関する支援の底上げのための研修会を開催予定

高齢障害者プロジェクト 介護保険連携ワーキング

報告者：松岡啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回程度開催。 ・介護保険の移行や利用が円滑に進むための仕組みづくり ・障害支援や障害福祉に関するケアマネの理解、介護保険に関する障害分野の理解を促進するための研修会の開催
参加者	<p>障害福祉課、長寿政策課、あんしん長寿相談所、大津市介護支援専門員協会 大津市権利擁護サポートセンター、みゅう、じゅぶ、ひびき、QUOCARE、ブリッジ</p>
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・9月11日（琵琶湖線側）、19日（湖西線側）に介護保険と障害福祉の連携に関する研修会を集合開催する。70人参加。身体障害、知的障害、精神障害、それぞれの障害分野ごとの高齢

	<p>障害者の支援をテーマに介護保険分野と障害福祉分野の支援者がどう連携していくかを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月11日にオンライン開催、15人参加。9月の研修会の振り返りと、大津市障害者プラン、当事者アンケート結果、精神福祉部会の長期入院者のアンケート結果、9月のグループホーム部会でケアマネさんや後見人さんとの連携に関して意見交換会実施について、次回研修会に関して話し合う。また、10月25日にオンライン開催、10人参加。研修会のアイデアだしを行う。 ・12月13日にオンライン開催、14人参加。60歳から65歳の障害福祉サービス利用者集計結果について報告する。障害福祉サービスと介護保険サービスの違い ヘルプと短期入所に関して意見交換、また、介護保険以降に関する事例検討を行う。障害福祉から介護保険の移行に関して、ポイントや課題や工夫に関して意見交換を行う。
<p>今年度の取り組み状況</p>	<p>5月に介護保険のケアマネジャーと障害福祉の相談員とで65歳の介護保険移行をテーマに研修会を開催。100人近い参加者がある。12月に2回目の研修会を開催予定。</p>

バックアッププロジェクト会議

代表：元藤 大幹（美輪湖の家大津）

<p>部会等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の障害分野の事業所の連携強化とバックアップを強化する取り組みを行うことで、大津市の障害分野の事業所の質の向上と連携強化を図り、障害のある方が地域で安心して自分らしく暮らし続けるための支援を受けられる大津の構築を目指す。 <p>①サービス管理責任者大津圏域研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津市内の障害福祉事業所の連携と質の向上を目指して、サービス管理責任者現任研修を福祉指導監査課の集団指導と併せて2016年度から2018年度にかけて、毎年1回独自に開催してきた。市内のサービス管理責任者を配置している事業所が集まり、意思決定支援や連携や人材育成に関して議論をしてきた。国のサービス管理責任者の研修体系の見直しで実践研修が立ち上がったのでいったん終了としていたが、市内の事業所の質の向上のための連携強化のために研修会を年1回開催する。 <p>②サービス評価のツール提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から障害福祉サービス等の情報公開制度が創設されるのにあたり、大津圏域でも全ての障害福祉のサービス事業に関して、大津市のスタンダードとなる基準と要件を作成して、自己評価、利用者評価、第三者評価を行い、事業所の質的向上及び市民が福祉サービスを選ぶ判断材料となる物を作るべくスタンダードプロジェクトを立ち上げて議論してツールを開発した。市内の事業所でサービス評価を希望する事業所に対してツールを提供して、自己評価と利用者評価を実施していただく。 <p>③事業所へのフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業所（社会福祉法人を中心に）が新規参入の事業所のバックアップを行う。 ・新規事業の立ち上げの際の実習や情報提供の協力 ・新規事業所がケース対応や運営で困った時にどこがフォローしてくれるかの案内 <p>④事業所間職員交流</p>
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛育苑、咲くら、共生シンフォニー、オフィスコシキ、障害福祉課、福祉指導監査課

昨年度の開催状況	・11月28日にオンラインで開催。今後の取り組みに関して意見交換を行う。
今年度の取り組み状況	・夏以降に会議を開催予定

BCP 策定プロジェクト

報告者：松岡啓太（自立支援協議会事務局）

部会等	・業務継続計画については令和6年3月31日までに策定する必要があるが、大津市が策定状況の調査を行なったところ、261事業所中32事業所が策定している状況である。策定していない事業所の未策定理由として、「策定にあたる職員が不足している」、「策定が必要なことを知らない」、「策定の進め方がわからない」という回答があった。ついでには、策定を後押しするためのひな型や研修会の開催等が求められている。そこで大津市内の障害福祉事業所の業務継続計画の策定を円滑に進めるためのひな型を策定と研修会の企画運営を行う。
参加者	障害福祉課管理係、ヘルプ事業所協議会代表、放課後等支援代表、おおつ「障害者の生活と労働」協議会代表、自立支援協議会事務局
昨年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・6月26日に、「職員と共に考える障害福祉事業所における災害時のBCP計画策定と運用に関する研修会」を開催。140人ほどが参加。熊本で活動している寺西さんを講師に職員と共に作成するBCP計画に関して講師の講義と講師とプロジェクトメンバーとで意見交換を行う。 ・9月6日と7日に災害想定ゲームKIZUKIを協議会で購入して市内事業所を対象に体験研修会を開催。30人参加。 ・11月27日に「障害福祉事業所における災害時の備蓄に関する研修会」を備蓄に関する専門業者の方をお招きして開催。35人参加。ホームページでも研修動画を公開。 ・1月24日10時より感染症対策に関する研修会をオンラインで開催。 ・2月4日、2月6日に救命救急研修を北消防署と東消防署と2つの会場で開催。40人参加。
今年度の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> * 研修に関して ・新人職員対象の合同災害時心がまえ研修を開催予定 ・7月にヘルプ事業所向けの研修会を開催 ・9月に相談支援事業所むけの研修会を開催 ・BCP策定に関するフォローアップ研修を秋に開催で検討。昨年度も講師をした寺西さんに来て頂き、BCPの評価をしてもらってはどうかと思っている。 ・KIDUKIゲームによる研修を全事業所の職員対象に年3回開催。新たに本部セットの購入をして、管理者向けの研修を検討。 ・感染症に関しても年1回毎年保健所さんを講師に研修会を開催していく。 * 地域連携及び事業所連携の推進に関して検討していく。